

新年のご挨拶

マツダエース協力会 会長 藤井 隆

(有限会社日東ベンディング中国 代表取締役社長)

明けましておめでとうございます。皆様には、2026年の新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も皆様からお力添えをいただき、マツダエース協力会の会長としての役目を果たすことができました。本年も引き続き会員皆様方の親睦を深め、相互に発展できますよう努めていきたいと思ひます。今後一層のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



さて、2025年を振り返りますと、8月にトランプ政権による関税措置が正式に発動され、日本の製造業を中心に大きな衝撃が走り、価格競争力や収益性への影響が避けられない状況となりました。日本経済全体は緩やかな回復基調を維持しつつも、物価高騰による個人消費の低迷や、世界経済の不確実性といった課題に直面しました。

マツダ(株)では、自動車産業の大きな転換期の中、国内販売を強化する「国内ビジネス成長に向けた事業構造改革」方針を打ち出し、ビジネス構造変革のための3本柱を、「ブランド育成に向けた成長投資」「優先地域の特定(都市圏戦略)」「店舗体験の向上に向けた現場支援の徹底」とし、それらを具現化する4つの重点施策を定めました。また、電動化のマルチソリューションを具現化する『ライトアセット戦略』を説明されるなど、将来を見据えた様々な変革でブランド価値経営を一層推進されています。

私たち協力会といたしましても、こうしたマツダ様の先進的な取り組みに連携し、より一層の品質向上と効率化に努め、皆様と共に持続的な成長を実現できるよう邁進してまいりたいと存じます。

協力会活動においては、まず6月に宿泊総会を山口県の湯田温泉西の雅常盤で開催いたしました。総会後の懇親会や、ゴルフ・観光にも多くの皆様に参加いただきました。

7月には野球観戦、10月にはゴルフコンペと恒例行事も開催され多くの会員様にご参加いただき、親睦を深める場を設けられたことを大変嬉しく思っております。

マツダ車販売状況は2025年11月末上期(11月末)時点で、443台と前年を大幅に上回り、皆様のご尽力に感謝いたします。

最後になりましたが、マツダエース協力会の活動が会員各社の親睦を深める場として、益々活発になること、加えて皆様方、ご家族、社員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで年頭の祝詞を申し上げます
本年も幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます

顧問	小川 嘉彦	副会長	中吉 エンジニアリング(株)	〃	TOPPAN(株)	西山 郁也	会計	榎岡 達也	理事	土橋 忠弘	〃	徳永 俊和	〃	大野 徹	〃	毛利 輝志	〃	島田 泰実	〃	中島 和雄	〃	増尾 文彦	〃	橋詰 隆	監査	児玉 勝好	〃	坂本 和久
(株)いとや		中吉 エンジニアリング(株)		TOPPAN(株)		榎岡 達也	(株)一誠		(株)エディオン 法人営業部		(株)大野石油店		コヨーテ トレーディング(株)		(株)島田鉄工所		廣島駅弁当(株)		三井物産流通グループ(株)		ミドリ安全南広島(株)		ダイコーフーズ(株)		(株)タカキベーカーリー			

新年のご挨拶

マツダエース株式会社
代表取締役社長 末廣 誠二



明けましておめでとうございます。

マツダエース協会の皆様におかれましては、ご家族の皆様とともに、穏やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、当社ならびに協会活動に対し、温かいご理解と多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。改めまして、深く御礼申し上げます。

マツダを取り巻く事業環境は、電動化やカーボンニュートラルへの対応、グローバル競争の激化など、技術革新を起点とした大きな変革期にあります。そのような中であっても、マツダは独自の技術思想とものづくりへのこだわりを大切にしながら、世界のお客様から信頼されるブランドづくりに取り組んでいます。ロータリーエンジンに象徴される「飽くなき挑戦」の精神は、次世代技術の分野にとどまらず、生産技術や日々の現場改善にも脈々と受け継がれています。

私たちマツダエースは、マツダグループの一員として、ものづくりの現場や日々の事業活動を、技術面・サービス面の両面から支えてまいりました。生産設備や動力設備の保全・改良、高度化する工程に対応した工事や技術支援に加え、グループ社員の皆様の生活を支える各種サービス、さらにはデータ活用やIT・DXによる業務プロセスの改善など、幅広い領域に取り組んでいます。これらの活動は、協会会員の皆様のお力添えをいただきながら、現場に根ざした技術力と品質へのこだわりを大切に、着実に積み重ねてきたものです。

また近年では、これまでの取り組みで培ってきた知見やサービスを生かし、新たなお客様への事業展開にも少しずつ挑戦しています。新規事業の創出や外部パートナーの皆様との連携を通じて、事業の幅を広げながら、変化の時代においても安定的に価値をお届けできる企業を目指しています。

今後も当社は、DX・GX・SXと人の創造力を掛け合わせることで、新たな価値を生み出し続けてまいります。技術や仕組みだけではなく、それらを活かすのは一人ひとりの想いや挑戦する姿勢であると、私たちは考えています。そのため、誰もが安全で安心して働き、学び、成長できる環境づくりを何よりも大切にしていきたいと思います。人の創造力を育て、DX・GX・SXを力に変えながら、未来を切り拓く歩みを、皆様とともに進めていければ幸いです。

本年は、これまで築いてきた関係を大切にしながら、協会会員の皆様とのつながりを、より実りあるものへと一層深めてまいりたいと考えております。さまざまな交流の機会を通じて、技術や人材、情報が自然に行き交い、ともに学び合い、ともに成長していける一年となることを願っております。

結びに、協会会員企業の皆様の益々のご発展と、皆様ならびにご家族のご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
本年も相変わらずご愛顧のほどお願い申し上げます

取締役専務執行役員	小田 佳郎
取締役常務執行役員	中 谷 昭二 郎
取締役執行役員	天 満 昇
取締役執行役員	地 下 豊
取締役執行役員	渡 辺 忠
執行役員	上 神 政 也
執行役員	西 本 武 生
執行役員	作 岡 高 史
執行役員 経営戦略本部長	高 松 美 裕
執行役員 ブランドサポート本部長	鏑 分 秀 和
業務本部長	力 石 公 一
警備防災本部長	橋 口 雄 作
ライフサポート本部長	今 村 昌 彦
情報技術サービス本部長	辻 義 輝
プラントテクノロジー本部長	平 林 明 博

マツダエース協力会 第22回 ゴルフコンペ・ミーティング

10月17日(金)第22回マツダエース協力会ゴルフコンペを賀茂カントリークラブで開催し、総勢52名(会員様:39名、マツダエース:13名)の方に参加いただきました。当日は快晴となり、大自然の中で皆さん見事な腕前を披露され、ゴルフを楽しんでいただきました。

プレー終了後はシェラトングランドホテル広島に場所を移し、藤井会長からのご挨拶、児玉監査による乾杯の音頭でミーティングが始まりました。表彰式では優勝者と順位及び特別賞の表彰があり、優勝の水澄様より喜びのコメントをいただき、拍手喝采で祝福されました。また、昨年に引き続き抽選会では9社の理事から景品提供いただき、当選者が発表されるたびに盛り上がりました。交流を深めることができた一日となり、西中様による中締めでミーティングが終了しました。ご参加された皆様、お疲れのところ最後までお付き合いいただきありがとうございました。



表彰順位 (敬称略)

1位	水 澄 耕 造	ムサシ電機(株)
2位	吉 田 勇一郎	(株)マイ・コック
3位	横 内 伸 児	TOPPAN(株)
4位	金 子 政 彦	サントリービレッジソリューション(株)
5位	井 本 公 二	(株)大方工業所

特別賞 (敬称略)

ベスグロ			木 原 賢 児	(株)キリンビバレッジ
ニアピン	OUTグループ	8番	嶋 田 規 宏	(株)島田工務店
	INグループ	12番	柴 田 知 英	(株)柴田塗装店
ドラコン	OUTグループ	4番	木 原 賢 児	(株)キリンビバレッジ
		18番	宮 食 祐 介	富士フイルムBIJ(株)
	INグループ	4番	鎌 分 秀 和	マツダエース(株)
		18番	藤 本 賢 治	(株)エナスCS
当日賞			西 中 陸 志	(株)タカキベーカーリー



ゴルフ優勝 水澄様



挨拶 藤井会長



乾杯 児玉監査



中締め 西中様



会 員 情 報

●退会 (1社)

会社名	(株)信和
-----	-------

●社名変更 (2社)

(2025年4月1日以降11月末現在)

新会社名	旧会社名
(株)ニシキコネクト	(株)ニシキプリント
(株)TUMORI	津森鉄工(有)

◆ マツダ車拡販のお願い ◆

日頃より会員各社様には、マツダ車の販売へのご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
マツダ車拡販状況は2025年11月末上期(11月末)時点で、443台と前年を大幅に上回り、皆様のご尽力に感謝いたします。

さて、昨年マツダは大きな反響があった「MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER」の発売や、人気装備を標準化するなど、お客さまの選択のしやすさと、装備の充実の両立を図った「MAZDA2」の商品改良。また「CX-3」の商品改良もおこない、お客さまからご好評いただいている装備を追加し、より選びやすいラインナップとしました。今年は9年ぶりにフルモデルチェンジする「CX-5」が、国内に導入される予定になっています。新型「CX-5」は魂動デザイン、人馬一体の走りを継承・深化させ、眺めて触れて乗ることでの歓びと感動を提供しながら、室内空間の広さや使い勝手、乗り心地、静粛性を進化させた、快適な移動をサポートする車になっています。

なお「お得意先様マイカーご成約特典」がありますので、マツダ車のご商談・ご注文時にご購入店舗のスタッフへお申込書をご提出ください。

※ご提出がないと、お申込資格は失効となりますので、ご注意ください。

対 象 者 協励会会員会社の従業員様とその同居のご親族（配偶者、子供、両親または兄弟姉妹、等）

対 象 車 種 マツダ(株)が取り扱う新車で、個人名義での登録／届出された乗用車であること。

（※業務用車は特典の対象外となります）

マツダ系、マツダアンフィニ系およびマツダオートザム系でご購入いただいた車両が対象です。

乗 用 車：MAZDA2、MAZDA3、CX-3、CX-30、CX-5、CX-60、CX-80、MX-30、ロードスター

軽 乗 用 車：フレア、フレアワゴン、フレアクロスオーバー、キャロル、スクラムワゴン

マツダ車拡販のお願いにつきましては、会報への掲載は今回をもちまして最後とさせていただきますが、今後ともマツダ車の応援をよろしくお願いいたします。

